

# 市政への想い ～未来へ



**Q: 直面する課題は、なんですか？**

望月：主に3つあります。1つ目は“人口流出問題”2つ目は“医療問題”3つ目は“将来の富士宮創り”です。

**Q: 人口流出問題とは**

望月：静岡県は年間約6,000人の人口が流出しています。富士宮市は、労働人口が5年間で4,000人減少しており、そのうち1,000人が就職世代の流出です。このままだと、自治体消滅にもなりかねません。

**Q: 人口流出の対策はありますか。**

望月：若者世代向けに優良企業誘致と雇用の確保と、教育・医療・福祉の備わった住環境の整備が必要です。これらの政策化が求められています。

**Q: 医療問題(医師不足)についてお聞かせください。**

望月：静岡県は人口に占める医師数は全国41番目に低く、なおかつ東部の富士地区は県内でも最も低い。また、市立病院の整形外科医師の引上げにより、緊急手術ができないため地域医療が崩壊しています。

**Q: 医療問題(医師不足)の対策はありますか。**

望月：医師の確保は勿論ですが、医師が働きながら学べる環境をつくること。それから、地域唯一の総合病院を守るため、行政・市民・医師・議会による地域医療が存続できる環境づくりが必要です。地域医療フォーラムのようなものを開催することから始めることも考えています。

**Q: 富士宮市のまちづくりについて**

望月：当市は平成25年に富士山の世界文化遺産登録が決定され、文化遺産にふさわしいまちづくりと、その保全に邁進しなければなりません。一方で人口減少や人口流出問題で自治体消滅の危惧もあり、持続可能な自治体づくりが求められています。

**Q: そのためにはどのようなまちづくりが必要ですか。**

望月：観光で訪れる人に喜んでもらい、産業を確保することにより働く人たちを増やし、富士山を軸とした教育により知性を高めていく環境整備をし、これらにより人と人の交流を盛んにする交流都市を目指すことを提言します。

望月芳将  
後援会

〒418-0067 静岡県富士宮市宮町2-9

TEL 0544-26-4421 MAIL yoshi@m-yoshimasa.com

FAX 0544-26-4425 URL http://www.m-yoshimasa.com

富士宮市議会議員

よし ま さ  
望月芳将  
後援会会報

vol.26

発行日 平成27年3月 vol.26

発行元 望月芳将後援会  
会長 石川 寿三

〒418-0067 富士宮市宮町2-9  
Tel 0544-26-4421 / Fax 0544-26-4425  
URL : http://www.m-yoshimasa.com  
E-mail : yoshi@m-yoshimasa.com

## 富士山の世界遺産登録後の西富士道路の状況について

望月：世界遺産登録後、約一年経過した西富士道路の状況について伺う。

部長：世界遺産登録前一年間と登録後一年間の交通量は、約7%増えている。

また、年間のピークの8月での比較は、約6%増えている。

望月：沿線周辺土地利用を緩和しては？

部長：観光面では、世界遺産センターまでの沿道利用では、沿線サービス施設の立地誘導を図る。工業系では、新富士インターから岳南北部幹線かけて、新たな産業業務機能の導入を図る、新産業転換ゾーンとなる。

## 車場問題について

望月：せせらぎ公園の広場の今後について

部長：県の富士山世界文化遺産センターとの一体的利用が示されていることから、駐車場の大幅変更が求められる。代替機能を旧JR電留線跡地にもたせることを検討している。

望月：旧電留線跡地の駐車場整備は、世界遺産センター用で、観光や買い物客用とは違うのではないかと。

部長：世界遺産センターの建設に伴い、駐車場機能が失われてしまうので電留線跡地に求めていきたい。

## 富士宮市立病院の今後

望月：整形外科の医師さえ確保すれば、富士宮市立病院は立て直しができるのか。

院長：根本的には、整形外科の診療体制が縮小し、収支のバランスが崩れている。

これを取り除けば改善できると思う。もう一つは、麻酔科の問題で現在1名で、これ以外の待機体制は、民間から援助を受けている。来年度はかなり高い確率で、もう一人増え、2名体制になれば改善できる。

望月：私が議員になり、幾度となく診療科の縮小が問題となっているが、医師不足や偏在の問題が解消されない限り、根本が変わらないのではないかと。

院長：これは当病院だけの問題ではない。医師を増やす取り組みや、地域支援の予算をばらまいたりしているが、全然よくなっていない。国全体がもう少し考えるべきである。

望月：私たちにできることはあるのか。

院長：病院の市民健康講座を開催しているが、盛り上がり欠ける。議員の皆さんと市と市立病院と市民が協力して地域医療をやっていく必要がある。草の根運動のようなものであるが、地道にいくしかない。



# 決算審査

## 基金の運用について

望月： 基金の運用状況が昨年と比べ4倍になっているが。

A： 国債を購入し、その運用益が大きく出ている。

望月： 小さい額の基金は、性質別にまとめ国債運用をしては。

A： できないこともないので、研究及び検討したい。



## 雨水対策について

望月： 昨今のゲリラ豪雨対策で都市下水道の今後の計画は。

A： 現在、大宮都市下水路（弓沢線沿い）の整備をおこなっている。

今後は、市役所北側の整備を行う予定。

望月： 万野地区の堀も満水状態になるので、時間がかかると思うが対処をお願いしたい。

## 財政状況

望月： 決算繰越金が約17億円であるが、実質単年度収支約-4億円の関係は。

A： 公会計は単年度制であり、一年間の基金の状況を加味すると、取り崩した分、積立できないためマイナスとなった。

望月： その要因の分析は。

A： 昨年は、法人市民税の前納分の返納があり、このような結果となった。

望月： 平成26年度の補正予算では、繰越金を原資に基金へ積み立てを行っているのですが、長期の目線と、これからの国の動向を注視して財政運営をしていってほしい。

A： 依然として、苦しい財政運営である。民間で言う、減価償却という考えも取り入れて行っていく。



# 発言と成果

共立蒲原総合病院を富士医療圏の  
ベッド難民回避施設への移行提言  
H23.2 一般質問

療養病床を60床にし  
損失分を圧縮。



城山公園利用者用の駐車場の  
必要性を提言  
H23.6 一般質問

北側駐車場整備



大韓民国栄州市との  
今後の交流について  
H23.11 一般質問

市制70周年記念に  
友好都市に

子育て、子育て座談会から要望の  
ある公園整備について  
H24.9 一般質問

H26までに城山、  
白尾、外神東の  
公園整備



上井出曲松の保全

市の保存樹に指定

特別天然記念物湧玉池の保全  
H25.2 一般質問

上池の整備完了  
下池も要望中



西富士道路の渋滞解消と  
沿線土地利用について  
H23.11 H24.11 H26.6 一般質問

岳南北部幹線道路の  
富士宮分を計画へ

災害時応援協定の充実  
H23.6 一般質問

大阪府箕面市との締結

## 提言したものの

- ・メガソーラーの抑止をしている富士宮市の独自のエネルギー政策の推進
- ・富士登山のあり方や富士山衛生センターの管理について県への要望
- ・老朽化と危険箇所回避のため、田貫湖の周辺整備計画を策定
- ・震災復興の課題である法規制の緩和（土地利用関係）
- ・富士宮市の防疫体制の確立と、家畜の安全性を担保
- ・地価の下落を止め、上昇に向かわせる政策を
- ・林業の活性化の為に、公共施設の木質化
- ・市街地の駐車場整備と通行車両の誘導
- ・人口流出問題の対策として雇用確保
- ・水源涵養、水源林保全
- ・公共施設の集約化と再配置
- ・駅前交流センターの開設
- ・ホテル誘致

